

# 13 鎌倉市図書館資料管理方針（抄）

鎌倉市図書館の資料に関する収集・保存・除籍に関する方針を定めたものです。変化する社会情勢に対応し、新しいメディアの活用も視野に入れ、「サービス計画」に沿って充実した資料の構築や資料構成をめざします。

この方針の概要は次のとおりです。

## 1 資料の収集

本市図書館では「鎌倉市図書館サービス計画」に記述しているように、公共図書館の基本機能である資料提供を支えるものは、魅力ある充実した情報・資料と考えています。この資料を構成していくための資料収集は、図書館業務の中で最も重要な業務の一つです。寄贈や他機関との協力による収集も含め、次の収集方針に基づきます。

- 1-1 収集基本方針
- 1-2 各館の資料収集
- 1-3 資料別収集方針

## 2 資料の保存・除籍

各図書館では、限りあるスペースの中で、資料を利用しやすい状態に維持していくことが重要です。例えば、資料を保存書庫に移したり、図書館の資料から除籍したりして、常に魅力ある書架作りに努めています。そこで、次の保存・除籍の方針に沿ってその管理にあたっています。

なお、保存・除籍の際にも「図書館の自由に関する宣言」（日本図書館協会）を尊重しています。

- 2-1 保存基本方針
- 2-2 除籍基本方針

## 3 資料管理委員会

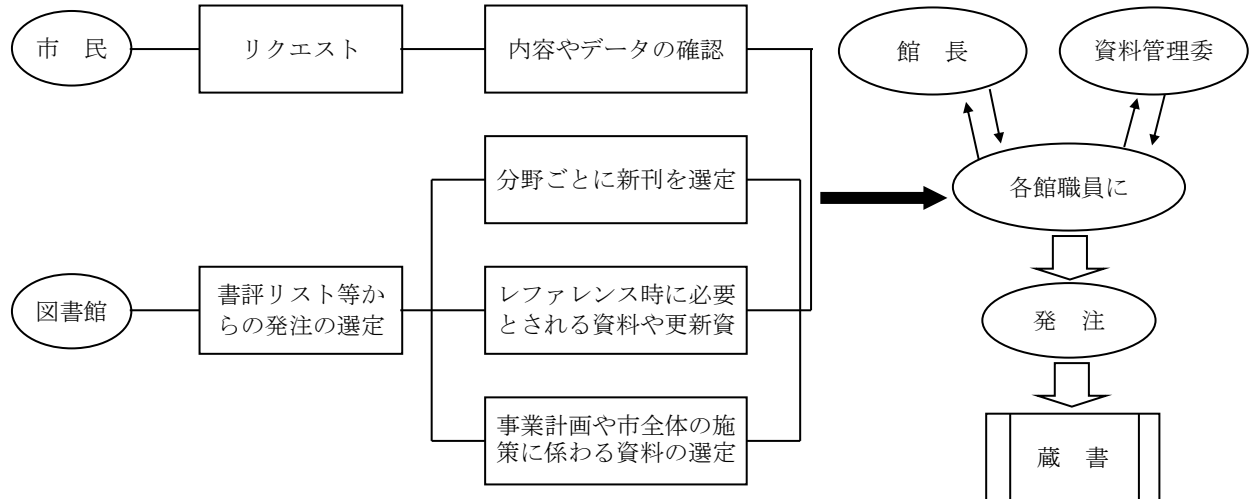
「図書館サービス計画」で記述している資料の充実を図るためには、資料構成のバランスを考えた資料の収集・管理を行う必要があります。

このため「資料管理委員会」を設け、資料収集・管理に努めています。

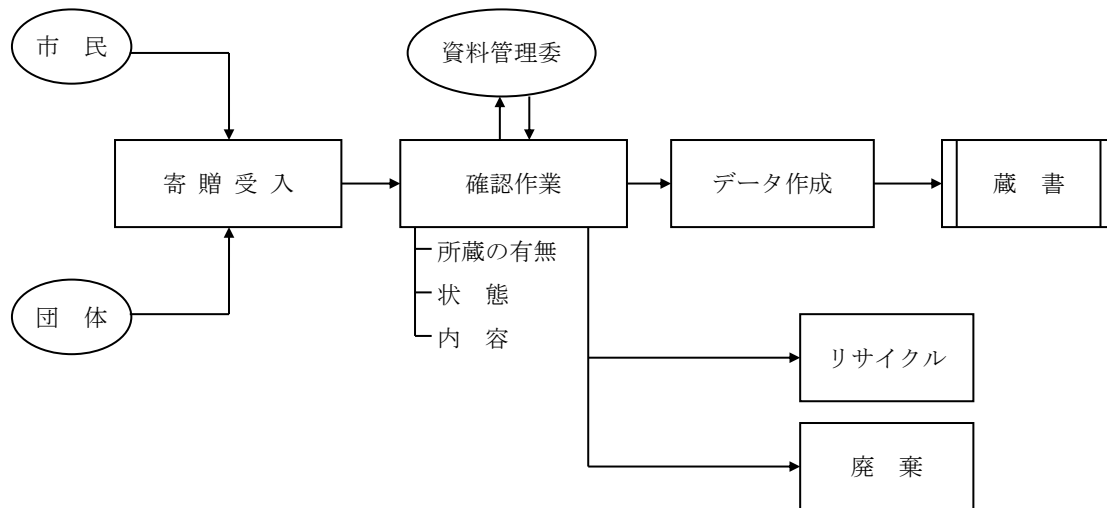
- 3-1 構成メンバー
- 3-2 活動内容

全文は、市内各図書館および図書館ホームページで公開しています。

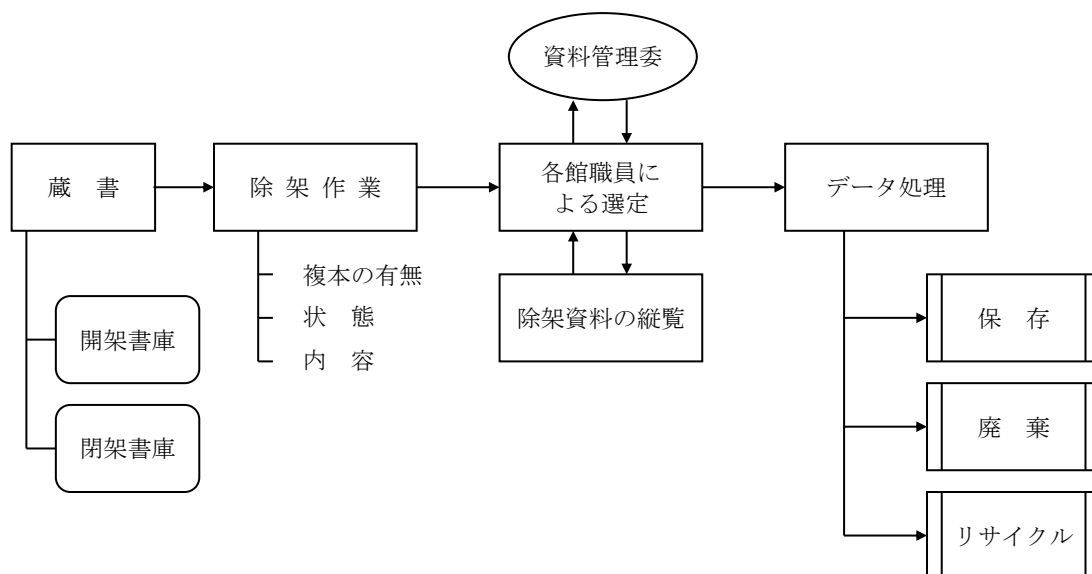
◎ 資料購入の流れ



◎ 寄贈資料受入の流れ



◎ 保存・廃棄資料の流れ



## 14 第2次鎌倉市図書館サービス計画（抄）

鎌倉市の図書館は図書館サービスのあり方の指針となる「鎌倉市図書館サービス計画」を平成12年に策定、市民とともに歩む図書館をめざしてサービスを進めてきました。

年々変化する社会情勢に伴い、教育機関としての図書館が果たす役割を新たに見直し、平成26年度から平成30年度までの5年間の計画として「第2次鎌倉市図書館サービス計画」の策定を行いました。図書館協議会による、基本方針の答申を受け、市民アンケートやパブリックコメント（意見募集）の実施等、多くの市民意見を取り入れ、平成26年4月に、教育委員会の承認を受けました。

第1次鎌倉市図書館サービス計画は、4つのサービスの柱「資料・情報提供」「鎌倉の歴史文化の継承」「市民とともに」「図書館の自由を守る」をもとに構成されていました。

第2次計画では第1次計画の基本的な考え方を継承しながらも、3つの基本目標を今後5年間の図書館サービスの方針として位置付け、社会情勢の変化に対応できる新たな取り組みを提案しました。今後、さらに市民に役立つ図書館をめざして、事業に取り組み、計画を推進します。

### 図書館の役割である2つのミッション(使命)

- 市民の知る自由を保障する
- 利用者の秘密を守る

### 基本目標である3つのビジョン

- 図書館は生涯学習の拠点  
図書館ネットワークの構築／利用者に応じた読書の支援／資料・情報の提供  
／施設設備の整備と提供
- 鎌倉ならではの図書館  
地域の資料・情報の活用／図書館からの情報発信／地域との連携
- 市民とともに創る図書館  
市民参画と協働／市民の声を活かすしくみ／市民の学習成果を活用する機会の提供  
／図書館協議会の活動／図書館を支える職員の配置と研修

全文は、市内各図書館および図書館ホームページで公開しています。

## 15 鎌倉市図書館ビジョン（抄）

鎌倉市図書館では、平成31年度から4年間の「第3次鎌倉市図書館サービス計画」の策定に先立ち、鎌倉市図書館の目指すべき姿を明確にすることが大切であると考え、鎌倉市図書館ビジョンを定めました。

鎌倉市図書館は、鎌倉に住まい、鎌倉に生き、鎌倉を愛する人のための図書館です。

市民の「知る自由」を保障し、誰も取りこぼさない知的セーフティーネットでなければなりません。

市は責任を持って持続可能な図書館経営を行っていく必要があります。

職員は、市民から何を望まれているのかを常に立ち返って考え、市民の声に応え、協働して歩む姿勢を忘れてはなりません。

蓄積された過去を知り、移り変わる現在を学び、未来に思いをはせるための場所。

図書館にしかできないことを見失わず、100年先まで鎌倉に生きる人たちの力になる場所。

それが鎌倉市図書館のあるべき姿です。

鎌倉市図書館の基本方針

### 「つながる ひろがる 100年図書館」

#### サービス方針Ⅰ つながる図書館

- 1 図書館ネットワークの構築
- 2 利用者に応じた読書の支援
- 3 資料・情報の提供
- 4 課題解決の支援

#### サービス方針Ⅱ ひろがる図書館

- 1 図書館からの情報発信
- 2 市民とともに

#### サービス方針Ⅲ 100年図書館

- 1 鎌倉らしいコンテンツの製作と発信
- 2 施設・設備の充実
- 3 危機管理体制の強化
- 4 市民の活動を支える職員の育成

全文は、市内各図書館および図書館ホームページで公開しています。

## 16 第3次鎌倉市図書館サービス計画（抄）

鎌倉市図書館は、平成12年に「鎌倉市図書館サービス計画」を策定し、平成26年に「第2次鎌倉市図書館サービス計画」を策定して、図書館サービスの充実に努めてきました。

この計画策定から4年が経過し、図書館を取り巻く社会情勢の変化や多様化・高度化する市民の要望にこたえるため、今回新たな指針として「第3次鎌倉市図書館サービス計画」を策定しました。

### 鎌倉市図書館の使命

猛スピードで移り変わる時代の中でも、図書館の基本は変わりません。多種多様な情報を収集、整理、提供して、知る権利を守り、「いつでも、誰でも、どこでも」望む情報を得ることができる環境を保障することです。

鎌倉市は、武家文化の中心となった中世、信仰と遊山の場となった近世、別荘文化と鎌倉文士に代表される近現代と、独自で多彩な歴史を誇ります。その歴史と文化は責任を持って後世まで保存・継承されなければなりません。

また、鎌倉市図書館は、その出発点から市民に支えられてきた、市民とともに創りあげてきた図書館です。これまで「市民の身近に図書館を」という目標を掲げ、鎌倉の5地域に一館ずつ図書館を整備してきました。

これからも各図書館を「いちばんそばの情報センター」として充実させ、まちづくりと市民の暮らしを学びを応援します。利用者の秘密を守り、鎌倉市図書館ネットワーク全体の力で、人々の知りたい気持ちに寄り添い応える組織であり続けます。

### 鎌倉市図書館の基本方針

鎌倉市図書館は、平成31年度（2019年度）から令和4年度（2022年度）までの第3次計画では、中央図書館と各地域図書館が連携し、市民と協働してサービス提供に取り組み、直営体制で安定的かつ効率的な運営を図ります。

「鎌倉市図書館の現状と課題」（第3次計画本文p.12）や「鎌倉市図書館の使命」を踏まえ、「つながる ひろがる 100年図書館」の3点を新たな基本方針として、図書館サービスの一層の充実を目指します。

全文は、市内各図書館および図書館ホームページで公開しています。